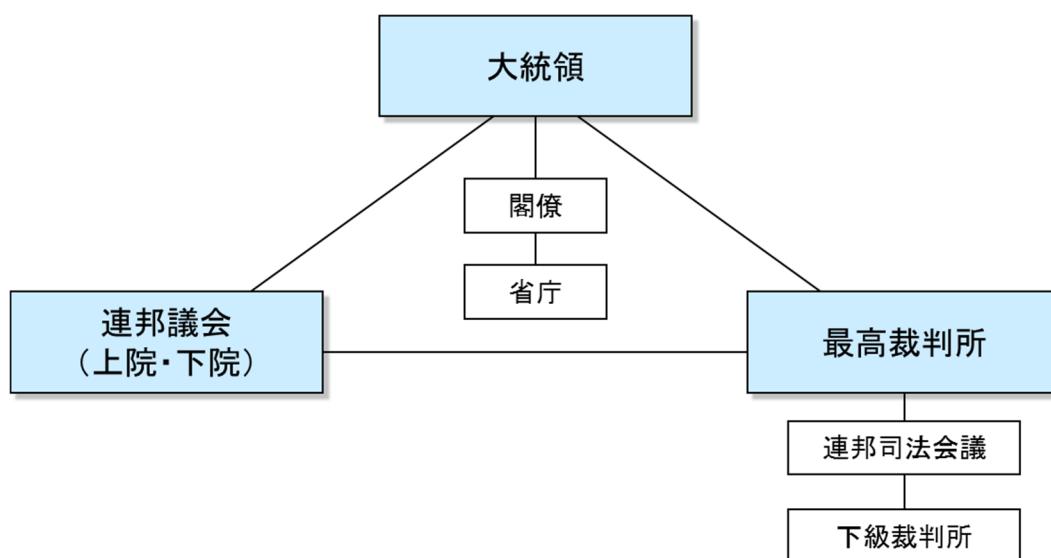


## 第2章 政治、外交

### 1. 政体

政治体制は大統領を元首とする連邦共和制である。立憲民主制が採用されており、1917年に米  
国憲法をモデルに制定された現行憲法により、32州から成るメキシコの統治機構が定められてい  
る。また、憲法第49条において、立法、行政、司法の三権分立が定められている。

図表 2-1 三権分立



(出所) 総務省「メキシコの行政」より作成

### 2. 元首

メキシコの家元首は大統領であり、行政府の最高責任者でもある。大統領は直接選挙により  
選出され、任期は6年で再選は禁止されている。2018年7月に実施された大統領選挙では、  
MORENAのアンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール氏が当選した。2024年6月には次期  
大統領選挙が控えている。

また、大統領には、法律の公布、閣僚等の任命権、軍の指揮権、条約締結権、連邦最高裁判所判  
事の人事提案権、恩赦権、法案の拒否権等、広範かつ強い権限が付与されている。

### 3. 内閣

連邦行政組織法により、19閣僚と連邦検察庁長官が内閣を構成している。

## 4. 行政組織

メキシコにおいては、大統領の下、次の中央官庁が組成されている。

図表 2-2 中央省庁

省庁	表記
農業農村開発省 (AGRICULTURA)	Secretaría de Agricultura y Desarrollo Rural
福祉省 (BIENESTAR)	Secretaría de Bienestar
運輸通信省 (SCT)	Secretaría de Comunicaciones y Transportes
文化省 (CULTURA)	Secretaría de Cultura
国防省 (SEDENA)	Secretaría de la Defensa Nacional
農地領土都市開発省 (SEDATU)	Secretaría de Desarrollo Agrario, Territorial y Urbano
経済省 (SE)	Secretaría de Economía
公共教育省 (SEP)	Secretaría de Educación Pública
エネルギー省 (SENER)	Secretaría de Energía
公共行政省 (SFP)	Secretaría de Funcion Publica
内務省 (SEGOB)	Secretaría de Gobernación
財務省 (SHCP)	Secretaría de Hacienda y Crédito Publico
海軍省 (SEMAR)	Secretaría de Marina
環境自然資源省 (SEMARNAT)	Secretaría de Medio Ambiente y Recursos Naturales
外務省 (SRE)	Secretaría de Relaciones Exteriores
保健省 (SALUD)	Secretaría de Salud
社会福祉労働省 (STPS)	Secretaría del Trabajo y Previsión Social
観光省 (SECTUR)	Secretaría de Turismo
安全保障・市民保護省 (SSPC)	Secretaría de Seguridad y Protección Ciudadana

(出所) メキシコ政府ホームページより作成<sup>2</sup>

<sup>2</sup> <https://www.gob.mx/>

## 5. 地方行政制度

全国は32州に分けられており、州ごとに、立法、行政、司法の三権分立体制が採用されている。また憲法によって、市町村制が採用されている。州知事の任期は6年であり、住民の直接選挙により選出される。州議会は一院制で、州ごとに議員の定数は異なっている。

州議会と州政府の機能は、各州で制定される州法にて定められている。州は連邦権以外の残余権を有しているが、なおも大統領と連邦政府に強い権限が付与されている。

## 6. 立法

憲法によって、立法権は国会に与えられている。大統領は法案に対し、拒否権を行使することができる。これに対して、国会は総議席数の3分の2以上の投票により、拒否権を無効にすることができる。

図表 2-3 上院・下院概要

	上院	下院
専管権限	条約の承認、海外派兵の承認等	予算の承認、国債発行・課税・徴兵に関する法案の先議等
議員定数	128 議席	500 議席
任期	6 年	3 年
選挙制度	混合制 ・ 相対多数制度により 96 議席 ※各州が 1 選挙区を構成。 議員は地域代表的性格を持つ。 ・ 比例代表制度により 32 議席	混合制 ・ 相対多数制度により 300 議席 ・ 比例代表制度により 200 議席
再選規定	両院とも、議員の連続再選は禁止	

(出所) 総務省「メキシコの行政」、外務省ウェブサイトより作成

## 7. 政党

メキシコの政治は主に、制度的革命党 (PRI) 及び国民行動党 (PAN)、民主革命党 (PRD) が担ってきた。PRI は 1929 年から 2000 年の 71 年間にわたり政権を維持したが、2000 年 7 月 2 日の大統領選挙において、PAN のフォックス候補が勝利したことで、PRI 政権に終止符が打たれた。続いて 2006 年の大統領選挙においても PAN が政権維持に成功した。しかし、PAN 政権下において治安や景気の改善は実現しなかったことから、2012 年の大統領選では PRI のペニャ・ニエト候補が当選し、再び政権交代となった。他方、2018 年 7 月の大統領選挙では MORENA のロペス・オブラドール氏が選ばれたことで、メキシコ初の左派政権が誕生し、同氏による新しい国家づくりに注目が集まった。

ロペス・オブラドール大統領は発足以来、汚職撲滅や地域格差の是正、治安改善等、内政を重視した政策を推進している。また、大規模な官民連携のインフラ投資計画を掲げ、通信や鉄道、空港等のインフラ整備に取り組んできた。一方で、電力や石油分野において国営企業優先のエネルギー政策に転換したことで、米国からは USMCA に違反するとして非難されている。大統領の任期は 6 年であることから、2024 年に次期大統領選挙が開催される。

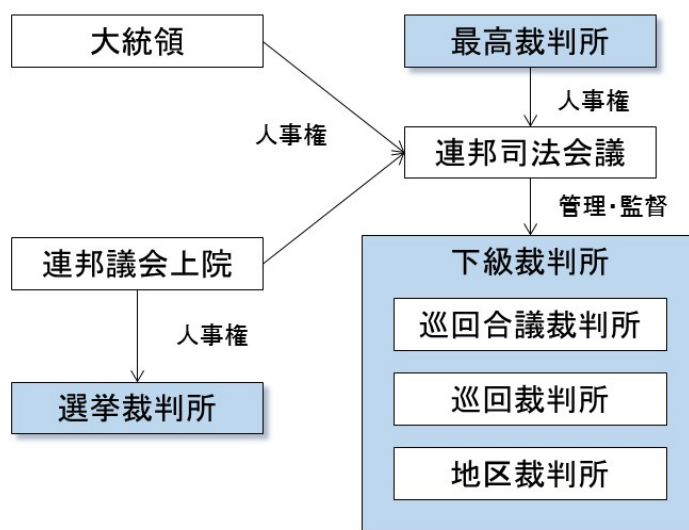
次期選挙を見据え注目されていた2023年6月の地方選挙では、野党の重要州であるメキシコ州で MORENA が勝利したことで、与党の基盤を強化したと報道された。

## 8. 司法

メキシコでは連邦制が採用されているため、裁判所には連邦裁判所と州裁判所が存在する。連邦裁判所では、連邦が関係する事案や複数の州にまたがる事案を取り扱い、州裁判所では、同一の州内に限定された事案を取り扱う。メキシコは原則二審制であるが、行政、司法、立法の行為によって人権を侵害された場合の救済制度であるアンパロ（Amparo）裁判に訴える場合には4回まで審議を受けることができる。アンパロ訴訟の場合、巡回裁判所で審判が行われ、巡回合議裁判所で再審が行われる。

最高裁判所においては、憲法争議や違憲の訴訟が行われる。最高裁判所の判事は、大統領が指名し、連邦議会上院が承認する11名から成る。連邦レベルでは、下級裁判所を監督し、裁判官人事を管理する連邦司法会議が存在する。当該会議は、最高裁判所の総会により指名される3名、連邦議会上院により指名される2名、大統領により指名される2名及び当該会議議長である最高裁判所長官の計8名から構成されている。

図表 2-4 連邦司法制度の概要



（出所）総務省「メキシコの行政」より作成<sup>3</sup>

## 9. 外交

植民地の歴史的経緯から主権尊重、内政不干涉、民族自決、紛争の平和的解決等が外交の基本原則である。

<sup>3</sup> [https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000537360.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000537360.pdf)

メキシコは、外交関係多角化や先進国への仲間入りを目指し、1993年にAPECに参加した。1994年にはOECDへ加盟するとともに、米国及びカナダとの間で北米自由貿易協定（NAFTA）を締結した。カルデロン政権は、米国との関係を最も重視しつつ、中南米諸国との関係再構築・強化を重視する姿勢を示した。

また、フォックス政権と同様に、伝統的な「中立・不干渉主義」から一步踏み出し、「責任ある外交」をスローガンに、国際場裡におけるメキシコのプレゼンスの拡大を目指す姿勢を示した。この一環として、2009年から2010年に日本とともに国連安保理非常任理事国を務めたほか、2011年に気候変動分野でもCOP16の議長国を務め、さらに2012年にはG20を主催する等、積極的な外交を展開した。

ペニャ・ニエト前政権では、中南米におけるプレゼンスの拡大等の姿勢が打ち出されていたが、現政権であるロペス・オブラドール政権では、前政権の外交方針から一定の転換をし、憲法89条（民族自決、内政不介入、紛争の平和的解決、発展のための国際協力、人権の尊重・保護・促進等）を遵守し、諸外国と相互尊重の下、外交を進めている。また、中米地域3ヵ国における総合的開発計画を通じて、中米からの移民流出に対処する方針である。外交課題である、米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）は、各国での批准承認を終え、2020年7月に発効された。アメリカとメキシコは、定期的に首脳会談やハイレベル経済対話（HLED）を開催している。2023年に実施された首脳会談では、サプライチェーンの強化や移民問題、メキシコのエネルギー問題を巡るUSMCAの紛争案件について協議された。また、同年のHLEDでは、メキシコに経済的利益をもたらす半導体サプライチェーンの協力を焦点が当たり、ほかには国境沿いにおける貿易、渡航手続きの効率化・デジタル化の推進や不法移民対策、労働力開発の取組等について協議された。

## 10. 国防

メキシコの軍隊は、ほかの中南米諸国の軍隊に比べて小規模で、内政に対する影響力も小さい。軍隊の任務は、外部からの侵略に対する防衛というよりも、国内の治安の維持と災害緊急援助の色合いが強い。近年国内の犯罪組織を取り締まる警察を支援するため、軍隊が各地に駐屯している。国軍最高司令官である大統領の下に、陸軍、空軍を統括する国防省と、海軍を統括する海軍省が存在する。

図表 2-5 国防の基本情報（2023年）

概要	① 国防予算： 約 57.4 億ドル ② 兵 役： 志願制と短期徴兵制 ③ 兵 力： 29.8 万人
----	--

（出所）外務省より作成